

(様式2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	兵庫県立千種高等学校 教諭 松井 利澄	研究グループ名 千種幼小中高英語教育研究会	74
-------------	------------------------	--------------------------	----

研究テーマ分類番号 (3)

(1) 研究テーマ

千種型幼小中高の連携を軸とした英語教育システムの構築

～ 子どもに夢を 千種に元気を！ 国際的視野を持った子供の育成 ～

(2) 研究経過及び具体的な取組

今年度も、昨年度に引き続き千種中高の連携を軸としながら英語及び外国語活動に関する情報交換や授業研究体制の基礎づくりを主眼として、以下のような内容で研究を行ってきた。

平成26年

6月14日(土)「外国語活動」授業の実施(於:千種小学校)

千種小学校の5・6年生を対象に、千種中学校の英語科教諭とALTが小学校教員と協力して「外国語活動」の授業を行い、保護者や地域の方々にも公開した。

7月3日(木)「中高英語連携授業」(於:千種中学校)

千種高校英語科教員とALTが千種中学校に赴き、中1生と中2生に対して発声・発音練習の後英国の童謡「マザーグース」の紹介を行い、ゲームによる文法定着活動を行った。

7月16日(水)「小高英語連携授業」(於:千種小学校)

千種高校英語科教員とALTが千種小学校に赴き、小5児童に対して発声・発音練習及びマザーグース童謡の紹介を行い、英語版フルーツバスケットで英単語の定着を図った。

8月中旬 「しその逸話―千種編―英語翻訳作業」(千種中高教員・ALT)

「しその逸話―千種編―」(DVD)所収の「お花屋敷と忠佐護神社」の英語翻訳作業を行った。今後他の逸話も翻訳し、英語版DVDを作成する予定である。

9月16日(火)「ZachとDaveの英会話教室」(商店街空店舗活用事業)

商店街の空き店舗「千高街の駅」を活用し、千種中学校・千種高校のALT2名が一般市民対象の英会話教室を月1回の頻度で開始し、町内の国際交流拠点としている。

10月16日(火)「中学校英語授業研究会」(於:千種中学校)

中学2年生の英語授業を実施・参観すると共に、英語教育の専門家(英語教育界の最高賞であるパーマー賞受賞者:姫路市在住)を招いて研究協議を行い、講演会を行った。

12月3日(水)「高等学校英語授業研究会」(於:千種高等学校)

高校2年生の「コミュニケーション英語Ⅱ」を公開し、電子辞書や電子黒板を用いた先進技術の活用と従来型の授業の是非について協議し、小中高の連携についても考えた。

今後の予定として、平成27年2月初旬に千種小学校で「外国語活動」の授業研究会を実施し、文科省から打ち出された小学校における「英語」教科化の動きとその課題について協議すると共に、千種町内での連携を生かして如何なる英語教育の実現が可能であるか、その点について少しでもある一定の方向性を打ち出し、「千種モデル」が出来ればと考えている。